

## 2020 年度入試 一般前期 解答

### 1 長文

#### 【出題意図】

高等学校で習得した基礎学力、文章理解力、設問の趣旨にそって表現する能力を問う。

#### 【解 答】

問1 (1) ついとう (2) のこ (3) かたん (4) いぜん (5) から

問2 (解答例)

収容されていた人は、痛みが強すぎる分、周りや全体像が見えなくなることが多いが、戦争を体験していない人たちは、冷静に客観的に物事を捉えられるし話ができる。(76字)

(採点基準)

- ・ 字数制限が守られている。
- ・ 誤字脱字がない。
- ・ 本文の内容を捉え、述べられている。

問3 ポーランド「市民は被害者でもあり加害者でもあった」(18字)

水俣「患者を含む市民同士が傷つけ合った対立の歴史がある」(24字)

問4 語る

歴史の継承 もしくは 教訓を残す

## 2 福祉

### 【出題意図】

高等学校で習得した基礎学力、文章理解、設問の趣旨にそって表現する能力を問う。

### 【解 答】

問1 (ア) 説教 (イ) 没頭 (ウ) 見劣 (エ) 冗談 (オ) 親戚

問2 A - ほめる (肯定でも可)

B - 叱る (説教 できないこと探し ダメなこと探し でも可)

問3 (解答例)

四肢のない身体のが子を見て「この子は一生寝たきりの人生を送るかもしれない」と母親は思った。つまり、多くの親が抱く望みを満たすことなく生まれたことで、ベッドの上で元気に笑ってさえいてくれたら、それでよいというところからのスタートであった。そのため、できることが増えることに対する喜びは大きく、この子にこれ以上何かを望むことはバチがあたるという思いを両親はもっていた。また、両親は筆者の育ちすべてを前向きに受けとめ、肯定してくれたことが、「ほめる子育て」の実践へとつながった。(237 字)

(採点基準)

- ・本文の内容を踏まえている。
- ・字数制限が守られている。
- ・誤字脱字がない。

問4 オ

問5 C - 喜 D - 憂

### 3 英語

#### 【出題意図】

これまでの学習で培ってきた学力と基礎的な英語の知識を前提として、受験者が、(i) 英文を正確に把握できる「英語読解力」、(ii) 読解した英文の内容について、適切かつ簡潔な表現で説明を与えられる「日本語表現力」、および (iii) 平易な語彙と文法を用いた「英語表現力」を備えているかを問う。これら3つの力は、本学入学後に、英語で書かれた文献等を用いて専門領域に対する理解を深め、かつ自らの研究・実践の成果を積極的に発信し、多様な文化的背景を持つ人々と英語を共通言語としてコミュニケーションを図り、さらには、そういった人びとと将来にわたって協働していく技術や態度を身につける上で、必要不可欠なものとする。

#### 【解答】

問1 解答：(ア) tennis, (イ) bowling

問2 解答：with

問3 解答例：私は、あなたが単に同意するのみで、それ以上何もしないのは望まない。

問4 解答例：自分が提示した話題に対する相手の反応に応じて、自分が更に会話を展開させる状況

問5 解答：your place in line (もしくは、your turn)

問6 解答例：みんなで、ボールがレーンの端まで行き着くのを待ち、全てのピンを倒すのか、いくつかのピンを倒すのか、それとも一本も倒さないのかを見る。

問7 解答：the ball goes back and forth

## 2020年度入試 一般前期 (数理) 解答

### 【出題意図】

表を正しく読み取る能力、定義に従って計算を行う能力、指示通りに立式して式を解く能力を問うものである。

### 【解答例】

問1  ア 新聞閲読  イ テレビ視聴

問2 [答え] 1212人

[答えに至る過程]

表2のテレビ視聴の行為者率をみると80.8%である。以下の式を解くとテレビ視聴を行った人数の2日間の平均値は、 $1500 \times 80.8 / 100 = 1212$ となる。

問3 [答え] 128.7分

[答えに至る過程]

表1から、1500人のインターネットの総利用時間数は1日あたり  $1500 \times 100.4 = 150,600$  (分) となる。表2から、インターネットを利用した人の人数は、1日あたりの平均で  $1,500 \text{人} \times 0.78 = 1,170$  人である。

$$150,600 \div 1170 = 128.71$$

四捨五入すると128.7となる。

問4 [答え] 14年後

[答えに至る過程]

X年後のインターネット利用の行為者率は、 $\left[ (1170+3X) / 1500 \right] \times 100$  と表せる。これが80.8と等しくなるXを求める。以下の計算から答えは14年後となる。

$$\left[ (1170+3X) / 1500 \right] \times 100 = 80.8$$

$$\therefore 1170+3X = 1212$$

$$\therefore 3X = 42$$

$$\therefore X = 14$$